

シラバス

科目名	秘書検定対策Ⅱ		担当者名	池亀 満枝							
学科	総合ビジネス科		授業方法	講義							
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	必修		授業時間数 36時間						
授業目的	社会人として身につけておきたい一般的な業務を行うのに必要な知識、技能を習得する。										
授業目標 (ラーニングアウトカムズ)	社会に出て働く人なら誰でも備えておかなければならない一般的な知識を、秘書技能という名称に集約して検定問題として出題している秘書検定の2級取得あるいは相当の知識を身につける。										
授業概要	必要とされる資質、職務知識、一般知識、マナー・接遇、技能の5つの領域を学習し、実問題を解き学んでいくことにより知識を身に付ける。										
授業 計 画 表	授業内容			授業内容							
	1 秘書検定とは	19	実問題								
	2 出題される5つの領域で問うものとは	20	実問題解説								
	3 実問題	21	実問題								
	4 問題解説	22	実問題解説								
	5 実問題	23	実問題								
	6 実問題解説	24	実問題解説								
	7 実問題	25	実問題								
	8 実問題解説	26	実問題解説								
	9 実問題	27	実問題								
	10 実問題解説	28	実問題解説								
	11 実問題	29	実問題								
	12 実問題解説	30	実問題解説								
	13 実問題	31	実問題								
	14 実問題解説	32	実問題解説								
	15 実問題	33	実問題								
	16 試験	34	実問題解説								
	17 試験解説	35	試験								
	18 試験解説	36	試験解説								
成績割合	テスト 70	学習FB方法	課題								
	学習態度・出席率 30										
	レポート 0	成績評価	S90~100点 A80~89点 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格								
	合計 100%										
P/R/A/G割合	P《課題解決型学習》P《課題解決型学習》80 R《実働実践型学習》R《実働実践型学習》10 A《主体的参加型学習》A《主体的参加型学習》10 G《海外体感型学習》G《海外体感型学習》0										
講師プロフィール	官公庁、政府関係機関等にて役職者の秘書を長年務めた経験から現在に至る。										

シラバス

科目名	パソコン実習ⅡA		担当者名	千葉 輝子				
学 科	総合ビジネス科		授業方法	実習				
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開講期 必・選	必修		授業時間数 144時間			
授業目的	PowerPointの資格取得を目指すと同時に、実務で役立つ機能を身に付ける。							
授業目標 (ラーニングアウトカムズ)	Microsoft Office Specialist PowerPointの合格を目標とする。							
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・毎授業、タイピング練習の実施(2年次に習得したタイピング力のアップを図る) ・アプリケーションの基本操作を練習後、各自で問題を解く(自身の理解度をチェック) ・模擬問題を繰り返し練習(正解率90%以上を目指す) 							
授業 計 画 表	授業内容			授業内容				
	1	オリエンテーション	19	Microsoft Office Specialist PowerPoint 出題範囲1				
	2	オリエンテーション	20	Microsoft Office Specialist PowerPoint 出題範囲1				
	3	オリエンテーション	21	Microsoft Office Specialist PowerPoint 出題範囲1				
	4	授業ガイダンス	22	Microsoft Office Specialist PowerPoint 出題範囲2				
	5	Power Pointの基本操作/スライドの作成(アウトライン表示)	23	Microsoft Office Specialist PowerPoint 出題範囲2				
	6	スライドマスター	24	Microsoft Office Specialist PowerPoint 出題範囲2				
	7	スライドの作成 図の挿入	25	Microsoft Office Specialist PowerPoint 出題範囲3				
	8	スライドの作成 図形描画	26	Microsoft Office Specialist PowerPoint 出題範囲3				
	9	スライドの作成 SmartArt	27	Microsoft Office Specialist PowerPoint 出題範囲3				
	10	スライドの作成 グラフ	28	Microsoft Office Specialist PowerPoint 出題範囲4				
	11	スライドの作成 表	29	Microsoft Office Specialist PowerPoint 出題範囲4				
	12	アニメーション・画面切り替え	30	Microsoft Office Specialist PowerPoint 出題範囲4				
	13	スライドの発表用原稿、配布資料について	31	模擬試験 第1回				
	14	課題「日本情報処理検定協会 1級レベル」	32	模擬試験 第2回				
	15	課題「日本情報処理検定協会 1級レベル」	33	模擬試験 第3回				
	16	課題「日本情報処理検定協会 1級レベル」	34	模擬試験 第4回				
	17	前期期末試験	35	模擬試験 第5回				
	18	前期期末試験 振り返り・復習	36	後期試験(模擬試験問題)				
成績割合	テスト 70%		学習FB方法	前期・後期 成績表送付				
	学習態度・出席率 20%							
	レポート 10%		成績評価	出席率80%以上 S90～100 A80～89 B70～79 C60～69 D59点以下は不合格				
	合計 100%							
P/R/A/G割合	P《課題解決型学習》100% R《実働実践型学習》100% A《主体的参加型学習》100% G《海外体感型学習》20%							
講師プロフィール	電子部品商社に入社し国内営業アシスタントとして、商品の入出庫管理、見積書作成、売上の月次処理などの業務を担当。その後、大手特約代理店に転職し、パソコン教室の講師及び、テキスト作成、受付業務を担当。現在はフリーランスとして、新入社員研修を含む企業研修も担当している。							

シラバス

科目名	プレゼンテーションⅡ		担当者名	中川 文康			
学 科	総合ビジネス科		授業方法	講義			
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	36時間		
授業目的	基本に忠実なプレゼンテーション技術(スライド作成+話法)の修得と共に、表現技術の向上によりコミュニケーション全般の質を高める。						
授業目標 (ラーニングアウトカムズ)	プレゼンテーションの資料作成から発表までを体系づけて学び、理想的なプレゼンテーションの実践に結び付ける。						
授業概要	①コミュニケーション能力向上の為の年間個人目標の設定 ②プレゼンテーションの本質を理解する ③資料作成要領、技術の修得 ④話し方(言葉の選択・表現)などの技術を修得						
授業計画表		授業内容		授業内容			
	1	オリエンテーション: 学習の狙い	19	演習スライドの作成 テーマを決めて簡単な演習スライドの作成(下期対応への助走として課題の検討を含め)			
	2	第1回資料に基づく講義 課題提出1回目(個人の年間目標設定)	20	個別の下期課題&目標設定(プレゼンテーション課題) 上期最終章で設定したプレゼン課題への作成取組み開始			
	3	目標統合: 発表と確認 課題提出に基づく発表を通じて、講師&学生間で目標を統合する	21	設定演習課題への個人別挑戦&作業の開始資料作成と個別指導対応			
	4	対人関係の系口は自己紹介から! 自己紹介の重要性と時間管理について講義。課題提出2回目(自己紹介シート)	22	設定演習課題への個人別挑戦&作業の継続資料作成と個別指導対応			
	5	自己紹介の実践発表(課題提出2に基づく実践発表)発表態度、話し方、時間管理の実践訓練を含む	23	設定演習課題への個人別挑戦&作業の継続資料作成と個別指導対応			
	6	プレゼンテーションとは?: 第3回資料 プレゼンテーションの基礎と本質を理解する	24	設定演習課題への個人別挑戦&作業の継続資料作成と個別指導対応			
	7	プレゼンテーション・マインドについて: 第4回資料 プレゼンテーション実施の際の構え、聞き手中心の話し方考察	25	提出資料の改善・改良・個人別指導及び発表原稿の校正 資料作成と個別指導対応			
	8	プレゼンテーション・マインド実践演習 「聞き手中心の話し方」実践的な演習&訓練	26	提出資料の改善・改良・個人別指導及び発表原稿の校正			
	9	プレゼンテーションの準備と戦略について: 第5回資料 プレゼンへの準備事項と戦略的プレゼン対応の重要要素	27	提出資料の改善・改良・個人別指導及び発表原稿の校正			
	10	プレゼンテーションの準備と戦略について: 第5回資料の継続 グループ討論&グループワークによる深堀り	28	提出資料の改善・改良・個人別指導及び発表原稿の校正			
	11	視覚とデザインについて: 第6回資料 視覚情報的重要性について講義、聴覚情報との補完関係について	29	演習課題プレゼンテーションの実践発表・実技指導 実践発表による成果の披露と成績考課			
	12	視覚とデザインについて: 第6回資料の継続 グループ討論&グループワークによる深堀り	30	演習課題プレゼンテーションの実践発表・実技指導 実践発表による成果の披露と成績考課			
	13	プレゼンテーション実技と実施時の留意事項: 第7回資料 実技実演に関わる「話し手」の立ち居振る舞い・話し方	31	演習課題プレゼンテーションの実践発表・実技指導 実践発表による成果の披露と成績考課			
	14	個人演習訓練、グループ演習訓練 プレゼンテーション実技と実施時の留意事項(継続)	32	演習課題プレゼンテーションの実践発表・実技指導 実践発表による成果の披露と成績考課			
	15	演習スライドの作成 テーマを決めて簡単な演習スライドの作成(下期対応への助走として課題の検討を含め)	33	演習課題プレゼンテーションの実践発表・実技指導 実践発表による成果の披露と成績考課			
	16	演習スライドの作成 テーマを決めて簡単な演習スライドの作成(下期対応への助走として課題の検討を含め)	34	まとめ①			
	17	演習スライドの作成 テーマを決めて簡単な演習スライドの作成(下期対応への助走として課題の検討を含め)	35	まとめ②			
	18	演習スライドの作成 テーマを決めて簡単な演習スライドの作成(下期対応への助走として課題の検討を含め)	36	まとめ③			
成績割合	テスト	筆記テストは実施せず、課題提出物の期日内提出(複数回)&個別指導時における学習効果の確認(合計70%)	学習FB方法	演習課題及び課題提出物などは講師コメントを付記して返却配信するが、対面授業での個別指導を重視し、学習の進捗状況により対応する。			
	学習態度・出席率	学習態度(20%)、出席率(10%)		成績評価	プレゼンの本質的理解度合を判断し、実践応用を通じて発揮される評価する。 S+90, A+80, B+70, C+60, D~59		
	レポート	加点・原点調整の必要に応じて提出を求める					
	合計	100%					
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>基本・基礎の理解と基本動作の連動(70%) R<<実働実践型学習>>基本に忠実に加えて応用活用と創造力の発揮(50%) A<<主体的参加型学習>>目標を設定したらそれに向けて挑戦する意欲と継続する力(50%) G<<海外体感型学習>>英語による資料検索を通じて情報の取捨選択と理解(25%)						
講師プロフィール	物流企業で11年間の海外勤務経験、役員として企業内大学設立・学長として人材育成・社員教育に注力。 プレゼン技術を通じてコミュニケーション力の向上を目指し、企業研修講師として13年のキャリアを活かし、学ぶ楽しさとモチベーションの継続、挑戦する喜びなど、対話を重視した授業を通じて人前で自信を持って話すことが出来るように指導。 JAFA元講師。社員教育コンサルタント。全日本弓道連盟会員。俳人協会会員。						

シラバス

科目名	華道Ⅱ		担当者名					
学 科	総合ビジネス科		授業方法	実習				
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	72時間			
授業目的	四季折々の樹々や草花などの花材を美しく生けるための基礎や楽しさを伝え、視野を広げる。							
授業目標 (ラーニングアウトカムズ)	花の色や質感、季節、形や空間などを考慮して組み合わせたりすることにより感性を磨き、個性を尊重した自由な表現力を身に付ける。							
授業概要	華道、フラワー・アレンジメントの知識、技術の習得。							
授業計画表	授業内容			授業内容				
	1 基礎			19	実習			
	2 実習			20	実習			
	3 実習			21	実習			
	4 実習			22	実習			
	5 実習			23	実習			
	6 実習			24	実習			
	7 実習			25	実習			
	8 実習			26	実習			
	9 実習			27	実習			
	10 実習			28	実習			
	11 実習			29	実習			
	12 実習			30	実習			
	13 実習			31	実習			
	14 実習			32	実習			
	15 実習			33	実習			
	16 実習			34	実習			
	17 実習			35	実習			
	18 実習			36	振り返り			
成績割合	テスト		学習FB方法	前期 成績表送付				
	学習態度・出席率 100%							
	レポート		成績評価	出席率80%以上				
	合計 100%							
P/R/A/G割合	P《課題解決型学習》20% R《実働実践型学習》40% A《主体的参加型学習》40% G《海外体験型学習》							
講師プロフィール								

シラバス

科目名	簿記会計 II		担当者名	吉富 泰利				
学 科	総合ビジネス科		授業方法	講義				
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	必選		授業時間数 36時間			
授業目的	簿記の基本理論を理解し、検定試験に挑戦する。							
授業目標 (ラーニングアウトカムズ)	お金の基本・経営の基本を理解し、現実を理解できる人材を育成する。							
授業概要	経営学の基礎には、簿記・会計の知識が必修事項となっている。 簿記理論の習得など座学形式で授業する。 日本商工会議所主催の簿記検定試験テキストを使用し、基本的な簿記と会計の基礎を理解できるように講義する。 基本的に座学。年間数回の検定試験対策レポート提出と年間数回の小テストを実施する。							
授業 計 画 表	授業内容		授業内容					
	1 ガイダンス	19	精算表6桁・8桁・10桁の差と特徴					
	2 年間スケジュール・目的と意義 何故、この授業が必要かについて	20	損益勘定の振替と帳簿の締切					
	3 簿記の基本原理 現実と企業の有り方と特色についての基礎解説	21	勘定式 財務諸表の作成および報告式 財務諸表との差					
	4 基本概念 取引とは何か	22	試験対策① 検定試験への対策					
	5 勘定科目と性格と属性 記録と証憑 帳簿の種類と必要性①	23	試験対策② 検定試験への対策					
	6 取引の基本 現金と預り金勘定 記録と証憑 帳簿の種類と必要性②	24	試験対策③ 検定試験への対策					
	7 商品売買① 売買方法と回収方法の種類	25	検定試験の合否による。 合格した場合は、2級対策、不合格の場合は、苦手な計算・理論の再確認					
	8 商品売買② 売上原価と三分法・商品券取引	26	検定試験の合否による。 合格した場合は、2級対策、不合格の場合は、苦手な計算・理論の再確認					
	9 手形と電子記録債権 手形の取引と電子記録債権債務	27	検定試験の合否による。 合格した場合は、2級対策、不合格の場合は、苦手な計算・理論の再確認					
	10 商品 基本取引・三分法とその他の取引	28	検定試験の合否による。 合格した場合は、2級対策、不合格の場合は、苦手な計算・理論の再確認					
	11 信用取引と支払い義務売掛金と買掛金	29	検定試験の合否による。 合格した場合は、2級対策、不合格の場合は、苦手な計算・理論の再確認					
	12 投資と信託 売買目的有価証券	30	検定試験の合否による。 合格した場合は、2級対策、不合格の場合は、苦手な計算・理論の再確認					
	13 その他の勘定 その他債務と債権	31	検定試験の合否による。 合格した場合は、2級対策、不合格の場合は、苦手な計算・理論の再確認					
	14 商品在庫 三分法とその他の取引 商品の期末残高の評価	32	検定試験の合否による。 合格した場合は、2級対策、不合格の場合は、苦手な計算・理論の再確認					
	15 まとめ① 基本的仕分けの確認	33	検定試験の合否による。 合格した場合は、2級対策、不合格の場合は、苦手な計算・理論の再確認					
	16 棚卸資産と在庫管理 原価と在庫	34	まとめ① 年間のまとめ 実施予定の検定試験対策					
	17 固定資産有形固定資産の取得と減価償却	35	まとめ② 年間のまとめ 実施予定の検定試験対策					
	18 試算表作成の基本	36	まとめ③ 年間のまとめ 実施予定の検定試験対策					
成績割合	テスト 前期末 筆記試験 成績の60%		学習FB方法	繰り返し検定試験の過去問題集を解き、解答方法に慣れるように練習。				
	学習態度・出席率 出席率10%							
	レポート 課題提出30%		成績評価	前期期末分50% 学年末分50%				
	合計 100%							
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>60% R<<実働実践型学習>10% A<<主体的参加型学習>60% G<<海外体感型学習>0%							
講師プロフィール	1994年税理士事務所開業。所長・代表税理士。 東証一部上場企業保有会員制俱楽部財務分析担当としてコンサルティング。 國際交流センター・都内シティホテルの建て替えプロジェクト参加。 都内ホテル財務分析担当として経営指導。 海外コンサルティングを含む。 ・日本ホテル・レストランコンサルティング協会会員(上級ホテル・レストランファインシャルコンサルタント・JHRCA認定) ・レジャー産業研究会グループ8(企画担当役員) ・日本国際観光学会員							

シラバス

科目名	国内国際時事Ⅱ		担当者名	木花 章智				
学 科	総合ビジネス科		授業方法	講義				
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	必選		授業時間数 36時間			
授業目的	時事問題を深く読み解くための応用力を養います。							
授業目標 (ラーニングアウトカムズ)	初年度の授業で学習した制度や歴史に関する基礎知識を前提として、時事問題をさらに深く理解できるようになることを目指します。日々生起する諸問題は、それを受け取る者の立場の違いによって、見え方や捉え方が異なることを理解するとともに、社会の諸問題の多くは、一見、単独で生じているように見えても、実は相互に関連しあう構造を有していることを見抜く力を養っていきます。							
授業概要	授業では、テキストだけでなく、さまざまな映像資料などを用いて、一見、難しそうに見える政治や経済の問題を、できるだけ身近な問題として受け止められるように工夫していきます。また、一年生の授業で重視した、日本が抱える問題を他の国々との比較の中で捉え・考えるという姿勢は、引き続き二年生の授業でも重視していきます。							
授業 計 画 表	授業内容			授業内容				
	1 ガイダンス	19	選択的夫婦別姓問題					
	2 日本の社会保障問題(年金問題を中心に)①	20	同性婚をめぐる動き					
	3 日本の社会保障問題(年金問題を中心に)②	21	LGBTQについて					
	4 日本の人口動態分析と「異次元の少子化対策」	22	女系・女性天皇をめぐる問題					
	5 日銀の金融政策(マイナス金利政策の解除)	23	地球環境問題(海の温暖化について)					
	6 物価高と実質賃金①	24	地球温暖化と日本のエネルギー政策①					
	7 物価高と実質賃金②	25	地球温暖化と日本のエネルギー政策②					
	8 トランプ政権①	26	各国のSDGsの取り組みと成果					
	9 トランプ政権②	27	マイナンバーカードの用途拡大					
	10 日米関係と防衛費の増額問題	28	AI(人工知能)と生成AI					
	11 中国と「台湾」問題	29	世界の宇宙開発(アルテミス計画)					
	12 憲法改正問題①	30	iPS細胞の実用化					
	13 憲法改正問題②	31	ゲノム編集問題					
	14 ウクライナ情勢2025	32	臓器移植問題					
	15 北朝鮮問題2025	33	旧優生保護法をめぐる訴訟問題					
	16 バレスチナ問題2025	34	南海トラフ地震					
	17 夏の参議院選挙	35	ノーベル賞2025					
	18 ジェンダー・ギャップ指数	36	総復習					
成績割合	テスト	40%	学習FB方法					
	学習態度・出席率	40%						
	レポート	20%	成績評価	出席、定期試験、課題提出によって評価します。				
	合計	100%						
P/R/A/G割合	P《課題解決型学習》25% R《実働実践型学習》25% A《主体的参加型学習》25% G《海外体験型学習》25%							
講師プロフィール	専門は政治学です。特に近代西欧政治思想史を研究しています。現在の日本が抱える問題について、若いみなさんと大いに議論したいと思います。よろしくお願いします。							

シラバス

科目名	ビジネスマナー		担当者名	相川 奏恵				
学科	総合ビジネス科		授業方法	講義				
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	必選		授業時間数 36時間			
授業目的	社会で即戦力となる為にビジネスマナーを身につけ、社会人としての意識の持ち方、顧客満足を向上させる応対力と仕事のすすめ方を習得する。							
授業目標 (ラーニングアウトカムズ)	<ul style="list-style-type: none"> ■就活力を身につける ■ビジネスマナーとコミュニケーション力を身につけ、職場での即戦力を身につける ■幅広い視野を持ち、積極的なキャリア形成に役立てる 							
授業概要	コミュニケーション力を高める為の話し方・聞き方・ことば遣いを身につけ電話・来客・訪問の応対力を養う。 社内・社外・社交文書の知識を身につける。会社組織を理解し、報連相を演習で学ぶ。配慮の必要な顧客への対応や心理を学び、顧客満足度を高める。自己啓発と自己管理の出来る社会人を目指す。							
授業計画表		授業内容		授業内容				
	1	オリエンテーション・授業目標・メールのマナー	19	電話応対③				
	2	文章上達①	20	パリアフリー①				
	3	自己分析・逆転の発想	21	パリアフリー②				
	4	GD攻略法・働く目的・世界の就活	22	来客応対・名刺交換				
	5	実習のマナー	23	訪問・席次・紹介				
	6	働くということ	24	クレーム対応①				
	7	ストローク	25	クレーム対応②				
	8	8つの意識	26	指示命令の受け方と報連相				
	9	顧客心理	27	上手な仕事の進め方①				
	10	敬語①	28	上手な仕事の進め方②				
	11	敬語②	29	上手な仕事の進め方③				
	12	敬語③	30	段取り力・8つの意識				
	13	敬語テスト・世界の学校	31	文章上達②				
	14	ビジネス文書①	32	創造力を高める①				
	15	ビジネス文書②	33	想像力を高める②				
	16	会社の使命・社員の役割	34	想像力を高める③				
	17	電話応対①	35	愛される社員になるために・上手な指導の受け方				
	18	電話応対②	36	振り返り・まとめ				
成績割合	テスト 60%		学習FB方法	討議・演習個別評価とアドバイス 定期テスト解説				
	学習態度・出席率 10%・20%							
	レポート 10%		成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89点 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格				
	合計 100%							
P/R/A/G割合	P《課題解決型学習》50% R《実働実践型学習》20% A《主体的参加型学習》20% G《海外体験型学習》10%							
講師プロフィール	エアーニッポン㈱にてCA業務及び教育訓練教官業務(新人・中堅社員研修、緊急保安訓練教育・マニュアル作成)を経験。現在は日本講師協会にて電話応対、課題解決、新入社員研修等を実施。実績は環境庁、各市役所、埼玉県産業振興公社・東京都済生会中央病院・日本旅行・りそな総研・みずほ不動産・三菱ビルテクノサービス・SEGA・FC東京他							

シラバス

科目名	応用ゼミ		担当者名	桃島 将太				
学 科	総合ビジネス科		授業方法	ゼミ				
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開講期 必・選	必選		授業時間数 72時間			
授業目的	ビジネスをしていくうえで必要とされる問題発見と解決能力を身に付け、および、日光市創生の目標達成のための知識・スキルを活かして実課題に挑戦する。							
授業目標 (ラーニングアウトカムズ)	1. 情報・知識の収集と整理方法の習得。 2. 実際の情報・知識の習得。 3. 問題発見と解決、および発想と実現方法の習得。 4. 成功機会として日光市(もしくは観光協会等)へのプレゼンを通して、総合的な日光市創生につなげる。 ※その他;社会ルールやモラルの共通認識。							
授業概要	経営情報の視点から、地方創生を目的とした新しいビジネスを生み出していく。グループワークを中心としたPDCAサイクルから実践力を身に付けていく。毎回の授業後に、「授業理解度&意見調査」を実施し、修得内容の定着化と結果共有による意見交換をおこなうことで、より高度な内容へブラッシュアップする。							
授業 計 画 表	授業内容			授業内容				
	1	オリエンテーション	19	地方創生(案)まとめ②				
	2	オリエンテーション	20	地方創生(案)まとめ③				
	3	オリエンテーション	21	地方創生(案)まとめ④				
	4	チームビルド①自己紹介&主張のテクニック。	22	地域人材基盤:提案プレゼンへフィードバック				
	5	チームビルド②自己紹介&主張のテクニック。	23	地域人材基盤:提案フィードバック検証				
	6	IW企画作成	24	地方創生案提案				
	7	IW準備	25	日光市への提案準備①				
	8	IW準備	26	日光市への提案準備②				
	9	課題発見①地方創生調査～プレゼン	27	日光市への提案準備③				
	10	課題発見②日光市調査～プレゼン	28	日光市への提案準備④				
	11	課題発見③日光市調査／町の人／企業の声	29	日光市へ提案プレゼン～フィードバック				
	12	課題発見④日光市自治体調査	30	日光市:提案フィードバック検証①				
	13	課題選定②企画の立ち上げ方	31	日光市:提案フィードバック検証②				
	14	課題選定②解決したい課題の選定	32	日光市:提案フィードバック検証③				
	15	課題選定③アクション	33	総括①				
	16	課題選定④効果 仮説検証	34	総括②				
	17	課題発表①チームプレゼンテーション	35	まとめ				
	18	地方創生(案)まとめ①	36	まとめ				
成績割合	テスト		学習FB方法	前期・後期 成績表配布				
	学習態度・出席率 ゼミ活動30%出席10%							
	レポート ゼミ活動レポート60%		成績評価	取組・出席・レポート合計方式で評価。 S90～100点/A80～89/B70～70点/C60～69点/D59点以下は不合格				
	合計 100%							
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>P<課題解決型学習>80% R<実働実践型学習>R<実働実践型学習>80% A<主体的参加型学習>A<主体的参加型学習>100% G<海外体感型学習>G<海外体感型学習>20%							
講師プロフィール	芝浦工業大学工学部を卒業後、食品加工機械の設計やプログラミングを担当していた元エンジニア。28歳で起業し、4月現在35歳。コミュニティプランナーや新規事業立ち上げプロデューサーなど、業種、業界、地域を超えて活動している現役の連続企業家。中堅企業～上場企業に向けた経営戦略や組織開発などの経営コンサルタントの会社も経営している。							

シラバス

科目名	情報リテラシー II		担当者名	大貫 芳枝				
学 科	総合ビジネス科		授業方法	講義				
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	必選		授業時間数 36時間			
授業目的	PCを使いこなせるといったスキルだけでなく、課題解決やセキュリティなどの知識も取得していく。							
授業目標 (ラーニングアウトカムズ)	基礎的な3つのITリテラシーを身につけ、IT化、デジタル化、DX化への理解を深め対応できるようになる。							
授業概要	情報基礎リテラシーを中心に、コンピューターリテラシー、ネットワークリテラシーを学んでいく。							
授業 計 画 表	授業内容			授業内容				
	1	オリエンテーション	19	ネットワークとセキュリティ				
	2	オリエンテーション	20	ネットワークとセキュリティ				
	3	オリエンテーション	21	ネットワークとセキュリティ				
	4	ファイル管理とファイルのセキュリティ	22	ネットワークとセキュリティ				
	5	メール送信での注意点	23	情報における法律				
	6	メールでのファイル送信(圧縮フォルダ)	24	情報における法律				
	7	メールでのファイル送信(PDFファイル)	25	情報における法律				
	8	ファイル管理のまとめ	26	メール送信とメールのセキュリティについてまとめ				
	9	Officeのデータ活用	27	ファイル管理・活用				
	10	Officeのデータ活用	28	Officeアプリケーションの総合問題				
	11	Officeのデータ活用	29	Officeアプリケーションの総合問題				
	12	Officeのデータ活用	30	後期期末試験				
	13	前期期末試験	31	試験の振り返り				
	14	試験の振り返り	32	ビジネスユースについて				
	15	Office間でのデータ活用	33	ビジネスユースについて				
	16	Office間でのデータ活用	34	まとめ				
	17	ネットワークとセキュリティ	35	まとめ				
	18	ネットワークとセキュリティ	36	まとめ				
成績割合	テスト 80%		学習FB方法	前期・後期成績表送付				
	学習態度・出席率 10%							
	レポート 10%		成績評価	S90点以上 A80～89点 B70～79点 C60～69点 それ未満は不合格				
	合計 100%							
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>100% R<<実働実践型学習>>100% A<<主体的参加型学習>>100% G<<海外体験型学習>>20%							
講師プロフィール	IT系インストラクターとしての経験と、NPO法人理事として企画経営に参画し、管理業務でのAccess・Excel作成処理や対外的なビジネス文書作成などの実務、さらに新入社員研修等での講師経験も合わせ、「今望まれるITスキルの習得」ができる授業を心がけている。							

シラバス

科目名	AIと社会Ⅱ		担当者名	水野 良太				
学 科	総合ビジネス科		授業方法	講義				
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	必選		授業時間数 36時間			
授業目的	正しいAIの知識を得て、社会の中でどう活用していくかを考えていく。							
授業目標 (ラーニングアウトカムズ)	AIやITに関する基礎知識を学び、それをどう活用していくかを考える。							
授業概要	AIを使ってよりよい世界を作っていくためにはどうしたらよいか、そのためにはどういう知識が必要でそれがどう実社会(法律)に関わっていくかを考えいく授業。							
授業計画表		授業内容		授業内容				
	1	オリエンテーション	19	AI・ITの知識とその活用事例				
	2	AI・ITの知識とその活用事例	20	AI・ITの知識とその活用事例				
	3	AI・ITの知識とその活用事例	21	AI・ITの知識とその活用事例				
	4	AI・ITの知識とその活用事例	22	AI・ITの知識とその活用事例				
	5	AI・ITの知識とその活用事例	23	AI・ITの知識とその活用事例				
	6	AI・ITの知識とその活用事例	24	AI・ITの知識とその活用事例				
	7	AI・ITの知識とその活用事例	25	AI・ITの知識とその活用事例				
	8	AI・ITの知識とその活用事例	26	AI・ITの知識とその活用事例				
	9	AI・ITの知識とその活用事例	27	AI・ITの知識とその活用事例				
	10	AI・ITの知識とその活用事例	28	AI・ITの知識とその活用事例				
	11	AI・ITの知識とその活用事例	29	AI・ITの知識とその活用事例				
	12	AI・ITの知識とその活用事例	30	AI・ITの知識とその活用事例				
	13	AI・ITの知識とその活用事例	31	AI・ITの知識とその活用事例				
	14	AI・ITの知識とその活用事例	32	AI・ITの知識とその活用事例				
	15	AI・ITの知識とその活用事例	33	AI・ITの知識とその活用事例				
	16	AI・ITの知識とその活用事例	34	AI・ITの知識とその活用事例				
	17	AI・ITの知識とその活用事例	35	AI・ITの知識とその活用事例				
	18	前期まとめ	36	1年間のまとめ				
成績割合	テスト 70%		学習FB方法					
	学習態度・出席率 10%							
	レポート 20%		成績評価	提出物・出欠席を考慮して総合的に評価。				
	合計 100%							
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>70% R<実働実践型学習>70%AIやIT全般の基礎知識を得る。 A<主体的参加型学習>100%各自が得た知識を実社会の中でどう活用していくか考える。 G<海外体験型学習>30%海外でのIT活用事例などの話をする。							
講師プロフィール	都内私立高等学校での指導経験や社会人研修の経験があり、またVBAやPythonを用いた業務改善ツールの作成をしている。 他にアプリケーション・VBA・ネットワーク・AIに関する講義を担当している。							

シラバス

科目名	行動心理学II		担当者名	田中 達也				
学 科	総合ビジネス科		授業方法	講義				
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	36時間			
授業目的	社会で役立つ心理学の知識を学ぶ。							
授業目標 (ラーニングアウトカムズ)	心理学の基礎を学ぶことによって、社会人として必要なスキルを修得する。							
授業概要	社会心理学、行動心理学、コミュニケーション心理学、臨床心理学など、心理学の各分野の理論を紹介しながら、心理学についての知識を深め、社会人にふさわしい教養を身につける。 授業は講義を中心としておこなわれるが、ディスカッションやワークなども適宜加え、考えながら学べるよう工夫する。							
授業計画表		授業内容		授業内容				
	1	オリエンテーション1	19	人と人とのコミュニケーションにみる心理学1				
	2	オリエンテーション2	20	人と人とのコミュニケーションにみる心理学2				
	3	オリエンテーション3	21	人と人とのコミュニケーションにみる心理学3				
	4	感じる、考える、語る心理学1	22	人と人とのコミュニケーションにみる心理学4				
	5	感じる、考える、語る心理学2	23	人と人とのコミュニケーションにみる心理学5				
	6	感じる、考える、語る心理学3	24	人の心を癒す心理学1				
	7	感じる、考える、語る心理学4	25	人の心を癒す心理学2				
	8	感じる、考える、語る心理学5	26	人の心を癒す心理学3				
	9	人の行動から見た心理学1	27	人の心を癒す心理学4				
	10	人の行動から見た心理学2	28	人の心を癒す心理学5				
	11	人の行動から見た心理学3	29	ビジネスにおける教養としての心理学1				
	12	人の行動から見た心理学4	30	ビジネスにおける教養としての心理学2				
	13	人の行動から見た心理学5	31	ビジネスにおける教養としての心理学3				
	14	社会の一員としての心理学1	32	ビジネスにおける教養としての心理学4				
	15	社会の一員としての心理学2	33	ビジネスにおける教養としての心理学5				
	16	社会の一員としての心理学3	34	授業まとめ・ふりかえり1				
	17	社会の一員としての心理学4	35	授業まとめ・ふりかえり2				
	18	社会の一員としての心理学5	36	授業まとめ・ふりかえり3				
成績割合	テスト	10%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付				
	学習態度・出席率	80%						
	レポート	10%	成績評価	出席率80%以上 S90~100 A80~89 B70~79 C60~69 D59以下は不合格				
	合計	100%						
P/R/A/G割合	P《課題解決型学習》80% R《実働実践型学習》70% A《主体的参加型学習》50% G《海外体験型学習》0%							
講師プロフィール	大学院にて心理学の基礎理論と応用論を修めており、心理学領域の指導を14年間おこなっている。 さらに、自治体や企業の教育研修の講師を16年以上務めており、心理学をベースとした組織教育にも従事している。 また、公認心理師の国家資格を持つ現役の心理カウンセラーであり、人間理解やコミュニケーションスキルなどについて、実務経験に基づいた授業をおこなう。							

シラバス

科目名	接遇手話Ⅱ		担当者名	伊勢 正子				
学科	総合ビジネス科		授業方法	講義				
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	36時間			
授業目的	① 聴覚障がいについて理解を深める。 ② 手話での基礎的な日常会話を習得しコミュニケーション力を高める。 ③マイノリティの理解を深める。							
授業目標 (ラーニングアウトカムズ)	日常会話の手話語彙の習得。接遇手話の学習。聴覚障がい者への応対技術を学ぶ。							
授業概要	聴覚障がい者に配慮したサービスのあり方などの座学。 日常会話や接遇手話の実技。聴覚障がいゲスト講師との交流。							
授業計画表	授業内容			授業内容				
	1 基本の復習と確認【自己紹介・指文字/数字】	19	接遇手話(レストランでの接客)					
	2 基本の復習と確認 (疑問詞を使った会話練習)	20	接遇手話(窓口での接客)					
	3 基本の復習と確認 (疑問詞を使った会話練習)	21	接遇手話(デパートでの接客)					
	4 基本の復習と確認 (疑問詞を使った会話練習)	22	接遇手話(ホテルのフロントでの接客)					
	5 日常会話/例文練習	23	ゲスト授業事前学習(ろう文化等)					
	6 日常会話/例文練習	24	ゲスト講師(聴覚障がい者)を招いて話を聞く・交流をする。					
	7 接遇手話(接遇に関する場面)映像から学ぶ	25	聴覚障がいの特性を理解する・先週の感想等の共有					
	8 接遇手話(接遇に関する場面)映像から学ぶ	26	後期の復習					
	9 接遇手話接客場面で使用する短文の練習	27	後期の復習/手話ソング(Xmasソング)					
	10 接遇手話(接客に関する簡単な会話練習)	28	時節の手話					
	11 手話で道案内(自宅から最寄りの駅までの道順)	29	時節の手話					
	12 前期これまで学習した単語等の復習	30	1年間の復習					
	13 理論…(デフリンピックについて)レポートの提出	31	1年間の復習・小テスト					
	14 前期の復習	32	1年間の復習					
	15 前期の復習(単語の小テスト)	33	1年間のまとめ					
	16 前期末試験(表出試験)	34	学年末試験(表出試験)					
	17 前期末試験(読み取り/筆記試験)	35	学年末試験(読み取り・書き取り試験)					
	18 前期試験の返却/解説・振り返り	36	試験の返却/解説					
成績割合	テスト	60%	学習FB方法	使用教材「豊かなコミュニケーション」(NPO法人東京都中途失聴・難聴者協会 発行)				
	学習態度・出席率	30%						
	レポート	10%	成績評価	出席率80%以上 s 90~100点 A 80~89点 B 70~79点 c 60~69点 D59点以下は不合格				
	合計	100%						
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>40% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>10%							
講師プロフィール	手話通訳士として講演会・会議・その他日常生活での手話通訳活動や手話講習会等で手話指導経験を積んでいます。							

シラバス

科目名	TOEIC II A	担当者名	鈴木 良		
学 科	総合ビジネス科	授業方法	実習		
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	必選		
授業目的	TOEIC Listening & Reading テストの形式を知り、スコア500点以上を取得できるよう、ボキャブラリー、リスニング、文法、リーディング力を高める。				
授業目標 (ラーニングアウトカムズ)	各パートごとのリスニングのコツを学び、100問中67問以上(TOEIC テスト リスニングセクション 300点以上)正解を目指す。Part 5 の文法問題の解き方の基本を学ぶ。文型、品詞などの必要な知識にも触れる。毎週行う小テストを通じ TOEIC 頻出単・熟語400語(TOEIC テスト 400-600レベル)を学ぶ。模試を通して、実際のテストの感覚を身につける。				
授業概要	TOEIC 500点取得に必要なボキャブラリーを身につけるため、毎回小テストを行う。リスニングの演習を通し、解き方の戦略 (strategies) を身につける。模試を定期的に行い、学んだスキルを実践する機会を設ける。リスニングが中心となるが、時間が許す限りリーディングセクションの問題の解き方も指導する。効率的な学習のために毎回、解いた問題を授業後に復習することが大事であるが、TOEIC テスト本番で目標の点数に届くためには、特に小テストで学んだボキャブラリー 400 を継続的に復習することによって、マスターすることが必須である。				
授業計画表	授業内容		授業内容		
	1 ボキャブラリー力試しテスト、Common objects イントロ、文型①	19	ボキャブラリー小テスト 3.3、トレーニング・リスニング編 2 S5		
	2 ボキャブラリー 1.1 イントロ、トレーニング・リスニング編 2 S1、文型②	20	ボキャブラリー小テスト 3.4、トレーニング・リスニング編 2 S5		
	3 ボキャブラリー小テスト 1.1、トレーニング・リスニング編 2 S1、文型③	21	ボキャブラリーまとめ小テスト 3.1-3.4、トレーニング・リスニング編 2 S6		
	4 ボキャブラリー小テスト 1.2、Part 2「WH questions」、文型④	22	ボキャブラリー小テスト 4.1、トレーニング・リスニング編 2 S6		
	5 ボキャブラリー小テスト 1.3、Part 2「選択疑問文」、文型⑤	23	ボキャブラリー小テスト 4.2、トレーニング・リスニング編 2 S7		
	6 ボキャブラリー小テスト 1.4、Part 2「依頼・許可・提案・勧誘の文」、品詞	24	ボキャブラリー小テスト 4.3、トレーニング・リスニング編 2 S7		
	7 ボキャブラリーまとめ小テスト 1.1-1.4、Parts 1-2 模試①、品詞	25	ボキャブラリー小テスト 4.4、トレーニング・リスニング編 2 S8		
	8 ボキャブラリー小テスト 2.1、Parts 3-4 模試①	26	ボキャブラリーまとめ小テスト 4.1-4.4、Parts 3-4 模試②		
	9 ボキャブラリー小テスト 2.2、トレーニング・リスニング編 2 S2、Jobs 1	27	Parts 3-4 模試①		
	10 トレーニング・リスニング編 2 S2、Jobs 2	28	Reading Section 模試②		
	11 ボキャブラリー小テスト 2.3、Listening Section 模試①	29	Listening Section 模試②		
	12 Reading Section 模試①	30	トレーニング・リスニング編 2 S9		
	13 ボキャブラリー小テスト 2、トレーニング・リスニング編 2 S3	31	期末試験対策		
	14 ボキャブラリーまとめ小テスト 2.1-2.4、トレーニング・リスニング編 2 S3、Memory	32	まとめ		
	15 期末試験対策	33	まとめ		
	16 前期期末試験	34	まとめ		
	17 ボキャブラリー小テスト 3.1、トレーニング・リスニング編 2 S4	35	まとめ		
	18 ボキャブラリー小テスト 3.2、トレーニング・リスニング編 2 S4	36	後期期末試験		
成績割合	テスト 30%(学期末)、40%(ボキャブラリー小テスト)	学習FB方法	口頭		
	学習態度・出席率 30%				
	レポート 0%	成績評価	単語小テスト等の小テスト、宿題、定期試験(前期・後期)、平常点		
	合計 100%				
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>60% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体の参加型学習>>60% G<<海外体感型学習>>100%				
講師プロフィール	TOEIC Listening & Reading テスト スコア990点取得、英検1級、中学校・高等学校教員免許(英語)取得				

シラバス

科目名	ビジネス実務法務検定II	担当者名	玉置 徹		
学科	総合ビジネス科	授業方法	実習		
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	必選		
授業目的			ビジネス法務検定2級の合格と2級3級の同時合格を目指す講座として、法律情報科2年生及び他学科2年生以上の学生で構成する。2年生は法律の基礎力があるので、3級合格を確実なものとし、2級合格の実力もつけることが目的である。他学科の学生は3級の力をつけた後、一気に2級の合格を目指すことを目的とする。また、実務法務の内容は幅広い分野に及ぶので、将来会社に就職する人には大きなプラス要素となり、また法律法律専門科目の理解にも役立つ内容が多く他の法律専門科目の理解にも役立つ内容にすることも授業目的としている。		
授業目標 (マニピュレーティブアウトカムズ)			実務法務検定で要求される内容を理解し2級の合格を果たすこと(最低限必ず3級の合格を果たすこと)、それに合わせ、実務の視点からの問題解決能力を身に着けることが各自の目標となる。本講座の授業目標は、受講生が回り道することなく実務法務検定の合格に必要な実力をつけてもらい、各自の目標とする級に合格し、更に上の級を目指し、最終的には実務法務に関連する諸問題の解決能力を実社会で活用できる人材を養成することにある。		
授業概要			まずは、試験を実施する東京商工会議所発行の公式テキストの内容を理解し、それと並行して、公式問題集をマスターする。試験直前期には、特に重要な部分を確認していく。さらに、3級又は2級を合格した学生には、2級1級への準備、対策も予定している。		
授業計画表	授業内容		授業内容		
	オリエンテーション	19	IV手形・小切手のトラブル等 Vその他の支払方法		
	オリエンテーション	20	I 担保の必要性 II 法定担保物権 III 約定担保物権		
	オリエンテーション	21	IV非典型担保 V人的担保		
	この講座の目標、講義の進め方にについて、商工会議所のHPより合格率等の確認、公式テキストの目次を使った出題分野の検討	22	諸制度(①裁判所に対する手続きによる ②債務者の倒産 ③強制執行手続き)		
	1. ビジネスと法律の関わり2. ビジネス実務法務とコンプライアンス等	23	1. 企業の財産取得に関する法律2. 企業財産の管理と法律		
	1ビジネス実務法務における契約の重要性 法律的に見た契約 ①有償性対価性 ②契約成立の効力 ③契約内容の確定時期	24	3. 知的財産権		
	2ビジネス実務法務と私法の基本原理 ①私的自治の原則 ②私有財産制一財産権の保障 ③過失責任主義 3. 財産権の多様化	25	1. 取引に関する各種の規制 I 経済関連法規 II 消費者保護関連の規制 III その他の取引に関する規制 2. ビジネスと犯罪		
	1法律の体系 ①法律 ②「法律」に含まれるもの	26	1. 法人と企業 I 法人 II 企業の種類と機能 III 企業が行う取引の特徴 2. 会社のしくみ I 会社の種類		
	2法律の分類方法 ①形式による分類 ②内容による分類 3. 権利の実現方法				
	1. 契約とは2. 契約の成立 I 売買契約の成立 II 権利義務の主体	27	II 株式会社		
	III 意思表示 IV 代理制度①	28	1. 従業員の雇用と労働関係 2. 職場の労働環境等に関する問題 3. 派遣労働における労働形態		
	IV 代理制度② V 契約の効力の発生	29	取引と家族関係		
	3. 契約成立後の法律関係 I 売買契約の効果と債務の履行 II 債務の履行に 関わる諸問題①	30	相続		
	II 債務の履行に 関わる諸問題②	31	まとめ 公式問題集①及び②		
	4. 売買以外の契約形態 I 貸借型の契約 II 労務型の契約 III その他の契約	32	まとめ 公式問題集③及び④		
	5. ビジネス文書の保存・管理 I ビジネスに関わる文書 II 契約書及び契約関連文書 III その他の法律上重要な文書 V 保存管理	33	まとめ 公式問題集⑤及び⑥		
	6. 契約によらない債権債務の発生 I 不法行為 II 事務管理・不当利得	34	まとめ 公式問題集⑦、⑧、⑨		
	1. 通常の債権の管理 I 債権管理の必要性と信用調査 II 日常的な債権の管 理回収	35	まとめ 総合問題①		
	2. 取引きの決済(手形・小切手等) I 手形と小切手 II 手形による取引 III 小 切手による取引	36	まとめ 総合問題②		
成績割合	テスト	10%	学習FB方法	実務法務検定2級の知識を確実にし合格を目指すため随時問題集による理解度の検証を行う。また、通常科目との関連も見ていく。	
	学習態度・出席率	80%			
	レポート	10%	成績評価		
	合計	100%		出席率80%以上、S90から100点、A80~89点、B70~79点 C 60~69点、59点以下は不合格 3級の合格が必須	
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>80% R<実働実践型学習>20% A<主体的参加型学習>60% G<海外体験型学習>				
講師プロフィール	玉置徹行政書士法務事務所所長、特定行政書士。 世田谷区の区民講師として消費者問題(消費者契約法、悪質商法被害防止)の啓蒙活動に参加(コロナ禍より現在活動中止)、同区の無料法律相談会相談員(不定期)を担当。 専門業務は、遺言・相続及び契約書等の市民法分野、起業支援、会社設立、宅建業・建設業の許認可等のビジネス法務関連。 その他、外国人の在留許可(定住・永住を含む)申請等の申請取次(外国人分野)にも関わっている。				

シラバス

科目名	キャリア開発 I		担当者名	葛原 加奈子、宮鍋 潤、沼田 かな子、井上 一輝、山本 友梨香、野上 伴睦				
学科			授業方法	講義				
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	選択	授業時間数	36時間			
授業目的	卒後VISIONに磨きをかけ、解像度を上げる。							
授業目標 (ラーニングアウトカムズ)	授業開始時の卒後VISIONの評価と授業終了時の卒後VISIONの評価を比較し評価がランクアップしていること。							
授業概要	未来デザインをケーススタディする。 好奇心から社会変化を探究し、自分未来を事例探究する。							
授業計画表		授業内容		授業内容				
	1	オリエンテーション	19	オリエンテーション				
	2	オリエンテーション	20	企業人講話				
	3	卒後VISIONとは	21	企業人講話				
	4	働くことは	22	ガクチカ分析				
	5	卒業生講話	23	ガクチカ分析				
	6	卒業生講話	24	起業家講話				
	7	卒後VISION書き直し	25	起業家講話				
	8	グローバル(IW6/9-20)	26	卒後VISION書き直し				
	9	グローバル(IW6/9-20)	27	特別講座準備				
	10	働き方について(キャリアの選択肢)	28	特別講座準備				
	11	就活キックオフ・(履歴書提出)	29	最終報告会				
	12	卒後VISION(コンテスト7/25/26)	30	最終報告会				
	13	企業人講話	31	1年振り返り				
	14	企業人講話	32	1年振り返り				
	15	卒後VISION書き直し	33	金曜日のみ)インターンシップについて				
	16	中間報告会	34	金曜日のみ)インターンシップについて				
	17	水曜日のみ)インターンシップについて	35	まとめ				
	18	水曜日のみ)インターンシップについて	36	まとめ				
成績割合	テスト 0%		学習FB方法	提出された卒後VISIONと各課題への評価				
	学習態度・出席率 30% (授業態度と課題の提出)							
	レポート 70% (卒後VISIONの提出)		成績評価	S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格				
	合計 100%							
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>40% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>10%							
講師プロフィール	キャリアセンタースタッフが授業をコーディネートし、授業内容に合わせた外部講師を招聘する。							

シラバス

科目名	日本語演習 I (N1)		担当者名	楊陽、岡崎志織				
学科			授業方法	講義				
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	選択	授業時間数	72時間			
授業目的	授業に必要とされる日本語の知識や理解力、会話力を深め、N1試験合格を目指す。							
授業目標 (ラーニングアウトカムズ)	12月に行われるJLPT N1の合格を目指す。							
授業概要	教科書に従って授業を展開し、文法、漢字、意味、慣用句、オノマトペ、読解、会話等、授業に必要とされる日本語の知識や理解力を深め、JLPT N1レベルの学習者としてふさわしい日本語力を身につける。							
授業計画表		授業内容		授業内容				
	1	プレースメントテスト	19	日本語の読解及び文法17				
	2	オリエンテーション、日本語の読解及び文法1	20	日本語の読解及び文法18				
	3	日本語の読解及び文法2	21	日本語の読解及び文法19				
	4	日本語の読解及び文法3	22	日本語の読解及び文法20				
	5	日本語の読解及び文法4	23	日本語の読解及び文法21				
	6	日本語の読解及び文法5	24	日本語の読解及び文法22				
	7	日本語の読解及び文法6	25	日本語の読解及び文法23				
	8	日本語の読解及び文法7	26	日本語の読解及び文法24				
	9	日本語の読解及び文法8	27	日本語の読解及び文法25				
	10	日本語の読解及び文法9	28	日本語の読解及び文法26				
	11	日本語の読解及び文法10	29	日本語の読解及び文法27				
	12	日本語の読解及び文法11	30	日本語の読解及び文法28				
	13	日本語の読解及び文法12	31	日本語の読解及び文法29				
	14	前期末試験	32	日本語の読解及び文法30				
	15	日本語の読解及び文法13	33	日本語の読解及び文法31				
	16	日本語の読解及び文法14	34	日本語の読解及び文法32				
	17	日本語の読解及び文法15	35	学年末試験				
	18	日本語の読解及び文法16	36	試験返却、解説				
成績割合	テスト 60%		学習FB方法	定期的にまとめテストにてフィードバック				
	学習態度・出席率 30%							
	レポート 小テスト10%		成績評価	出席率80%以上 S=100~90点、A=89~80点、B=79~70点、C=69~60点、D=59				
	合計 100%							
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>100% R<<実働実践型学習>0% A<<主体的参加型学習>0% G<<海外体感型学習>0%							
講師プロフィール	大学卒業後、日本航空 国際線に7年間勤務 在米6年 在独2年 日本語教師資格所有 米カリфорニア大学にて英語教員免許(TESL)取得 日米の教員免許を所有 長い海外経験から、外国人留学生の立場に立ったわかりやすい日本語の授業を心がけています。							

シラバス

科目名	日本語演習 I (N2)		担当者名	楊陽、岡崎志織				
学科			授業方法	講義				
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	選択	授業時間数	72時間			
授業目的	授業に必要とされる日本語の知識や理解力、会話力を深め、N2 試験合格を目指す。							
授業目標 (ラーニングアウトカムズ)	12月に行われるJLPT N2の合格を目指す。							
授業概要	教科書に従って授業を展開し、文法、漢字、意味、慣用句、オノマトペ、読解、会話等、授業に必要とされる日本語の知識や理解力を深め、JLPT N2レベルの学習者としてふさわしい日本語力を身につける。							
授業計画表		授業内容		授業内容				
	1	プレースメントテスト	19	日本語の読解及び文法16				
	2	オリエンテーション/日本語の読解及び文法1	20	日本語の読解及び文法17				
	3	日本語の読解及び文法 1	21	日本語の読解及び文法18				
	4	日本語の読解及び文法 2	22	日本語の読解及び文法19				
	5	日本語の読解及び文法 3	23	日本語の読解及び文法 20				
	6	日本語の読解及び文法 4	24	日本語の読解及び文法 21				
	7	日本語の読解及び文法 5	25	日本語の読解及び文法 22				
	8	日本語の読解及び文法 6	26	日本語の読解及び文法 23				
	9	日本語の読解及び文法 7	27	日本語の読解及び文法 24				
	10	日本語の読解及び文法 8	28	日本語の読解及び文法 25				
	11	日本語の読解及び文法 9	29	日本語の読解及び文法 26				
	12	日本語の読解及び文法 10	30	日本語の読解及び文法 27				
	13	日本語の読解及び文法 11	31	日本語の読解及び文法 28				
	14	前期末試験	32	日本語の読解及び文法 29				
	15	日本語の読解及び文法12	33	日本語の読解及び文法 30				
	16	日本語の読解及び文法13	34	日本語の読解及び文法 31				
	17	日本語の読解及び文法14	35	学年末試験				
	18	日本語の読解及び文法15	36	試験返却、解説				
成績割合	テスト 60%		学習FB方法	まとめテストの後にフィードバック				
	学習態度・出席率 30%							
	レポート 小テスト10%		成績評価	出席率80%以上 S=100~90点、A=89~80点、B=79~70点、C=69~60点、D=59				
	合計 100%							
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>100% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>0% G<<海外体感型学習>>0%							
講師プロフィール	大学卒業後、日本航空 国際線に7年間勤務 在米6年 在独2年 日本語教師資格所有、米カリフォルニア大学にて英語教員免許【TESL】取得、日米の教員免許所有 長い海外経験から外国人留学生の立場に立った、わかりやすい日本語の授業を心がけています。							

シラバス

科目名	大学支援 総合 I		担当者名	模村 麻里子				
学科			授業方法	講義				
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	選択	授業時間数	72時間			
授業目的	産業能率大学の履修科目を併修するためのサポート講義							
授業目標 (ラーニングアウトカムズ)	産業能率大学の1年次履修科目について理解を深める							
授業概要	産業能率大学で1年次に履修する科目の重要なポイントを学習し、リポート・科目習得試験に向けての準備を行う							
授業計画表		授業内容		授業内容				
	1	ガイダンス	19	企画力を強化する				
	2	ガイダンス	20	考える力をつける				
	3	社会人の常識とマナー	21	考える力をつける				
	4	社会人の常識とマナー	22	考える力をつける				
	5	社会人の常識とマナー	23	考える力をつける				
	6	ビジネス文書&メールの書き方	24	考える力をつける				
	7	ビジネス文書&メールの書き方	25	コミュニケーション論				
	8	ビジネス文書&メールの書き方	26	コミュニケーション論				
	9	ビジネス文書&メールの書き方	27	コミュニケーション論				
	10	情報分析力を鍛える	28	コミュニケーション論				
	11	情報分析力を鍛える	29	コミュニケーション論				
	12	情報分析力を鍛える	30	自由が丘とブランディング				
	13	情報分析力を鍛える	31	自由が丘とブランディング				
	14	情報分析力を鍛える	32	自由が丘とブランディング				
	15	企画力を強化する	33	自由が丘とブランディング				
	16	企画力を強化する	34					
	17	企画力を強化する	35					
	18	企画力を強化する	36					
成績割合	テスト	30%	学習FB方法	前期末試験および後期末試験の評価結果をそれぞれ学生にFBする				
	学習態度・出席率	30%						
	レポート	20%	成績評価	前期末試験、後期末試験の評価点の平均値を年度末の評価点とする。テクノスで定めた相対評価により評価点の補正を行う。				
	合計	100%						
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>30% R<<実働実践型学習>20% A<<主体的参加型学習>30% G<<海外体感型学習>0%							
講師プロフィール	コンピュータ会社勤務を経て、大学・短大・専門学校で非常勤講師を務めている。 現在まで10年間産業能率大学の通学、通信講座で非常勤講師を兼任している。 産業能率大学では、マーケティング、マネジメント領域の科目を7科目担当し、スクーリング、対面、リポート添削を行っている。							

シラバス

科目名	大学支援 総合 I		担当者名	吉田 純				
学科			授業方法	講義				
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	選択	授業時間数	72時間			
授業目的	本科目は中央大学法學部通信教育課程の編入を目指す学生等に課せられたレポート課題対策および法律学習の支援を目的とする。対象科目は憲法、民法(債権総論、債権各論)、刑法(総論)である。							
授業目標 (ラーニングアウトカムズ)	①レポートを提出し、実際に合格させること ②法律学習に限らず「自分のことば」を用いて文章で説明できるようにすること を目標とする。							
授業概要	①法律を学ぶにあたって必要な思考方法、②教科書を含む文献や裁判例の読み方、③リサーチ方法、④レポートを書く際の作法、⑤レポートの題意の読み解き方等を学ぶ。 スクーリングや試験、受講者の希望に合わせて授業内容が変わるものもある。							
授業計画表		授業内容		授業内容				
	1	オリエンテーション	19	民法:債権(総論・各論)基礎編				
	2	オリエンテーション	20	民法(債権総論):第1課題				
	3	オリエンテーション	21	民法(債権総論):第2課題				
	4	法律学習の基礎:①法体系②条文の読み方③教科書・基本書の読み方	22	民法(債権各論):第1課題				
	5	法律学習の基礎:①法体系②条文の読み方③教科書・基本書の読み方	23	民法(債権各論):第2課題				
	6	法律学習の基礎:①法体系②条文の読み方③教科書・基本書の読み方	24	憲法:基礎編				
	7	法律学習の基礎:①法体系②条文の読み方③教科書・基本書の読み方	25	憲法:基礎編				
	8	レポートの書き方	26	憲法:第1課題				
	9	レポートの書き方	27	憲法:第2課題				
	10	刑法:基礎編	28	残りの課題				
	11	刑法:基礎編	29	残りの課題				
	12	刑法:基礎編	30	2年次に向けて一刑法各論・民法(総則・物権・親族法)ほか一				
	13	刑法:基礎編	31	2年次に向けて一刑法各論・民法(総則・物権・親族法)ほか一				
	14	刑法(総論):第1課題	32	2年次に向けて一刑法各論・民法(総則・物権・親族法)ほか一				
	15	刑法(総論):第2課題	33	2年次に向けて一刑法各論・民法(総則・物権・親族法)ほか一				
	16	民法:基礎編	34	まとめ				
	17	民法:基礎編	35	まとめ				
	18	民法:債権(総論・各論)基礎編	36	まとめ				
成績割合	テスト	0%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付				
	学習態度・出席率	80%						
	レポート	20%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89点 B70~79点 C60~69点				
	合計	100%						
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>100% R<実働実践型学習>10% A<主体的参加型学習>60% G<海外体感型学習>0%							
講師プロフィール	他大学他学部より中央大学法學部通信教育課程に2年次編入し、同課程卒業。中央大学通信教育部インストラクター。専門は刑事政策・犯罪学。他専門学校・大学等でも講師(憲法、刑事政策、犯罪学等)を務める。元インターネットニュースメディア記者でもある。							

シラバス

科目名	大学支援 総合 I		担当者名	高木 佳子				
学 科			授業方法	講義				
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	選択	授業時間数	72時間			
授業目的	国文学の専門知識の習得とともに、各科目の単位修得におけるリポート作成の技術の習得も目指していく。							
授業目標 (ラーニングアウトカムズ)	古代から近代に至る日本文学の各ジャンルにおける専門的知識と課題を把握し、日本大学の各科目試験の単位修得に必要な知識を身につけていく。							
授業概要	日本大学における「国文学基礎講義」、「国文学概論」、「国文学講義(上代)」の3教科の単位修得に必要な、各科目ごとの2つのリポート提出について、提出期限を把握し、科目修得試験に向けて、計画的に進めていく。							
授業計画表		授業内容		授業内容				
	1	授業オリエンテーション 1年次履修科目について 履修科目のリポート課題提出について	19	「国文学概論」課題1 リポート作成に向けて				
	2	授業オリエンテーション 履修科目の試験、および過去問について	20	「国文学概論」課題1 リポート作成				
	3	授業オリエンテーション 国文学科目概要・講義概説	21	「国文学概論」古代歌謡とは				
	4	「国文学基礎講義」リポート課題概説 リポート作成に向けて	22	「国文学概論」歌謡と和歌				
	5	「国文学基礎講義」『万葉集』	23	「国文学概論」口誦歌謡と記載和歌				
	6	「国文学基礎講義」『万葉集』について	24	「国文学概論」課題2 リポート作成に向けて				
	7	「国文学基礎講義」『万葉集』の四季の歌	25	「国文学概論」課題2 リポート作成				
	8	「国文学基礎講義」『万葉集』日本の自然観	26	「国文学講義」I(上代)『万葉集』について				
	9	「国文学基礎講義」課題1 リポート作成に向けて	27	『万葉集』の宴席歌について				
	10	「国文学基礎講義」課題1 リポート作成	28	『万葉集』卷八(1581～1591)の宴席歌群について				
	11	「国文学基礎講義」歌謡とは	29	『万葉集』卷八の宴席歌群(1581～1591)の内容および構成について				
	12	「国文学基礎講義」記紀歌謡	30	『国文学講義』I(上代) リポート課題1の作成				
	13	国文学基礎講義』『古事記』における歌謡	31	『万葉集』大伴坂上郎女の歌				
	14	国文学基礎講義』『日本書紀』における歌謡	32	『万葉集』テキスト以外にみえる大伴坂上郎女の歌の内容、特徴				
	15	国文学基礎講義』課題2 リポート作成に向けて	33	『国文学講義』I(上代) レポート課題2の作成				
	16	国文学基礎講義』課題2 リポート作成	34	『国文学講義』I(上代) レポート課題の提出に向けて				
	17	「国文学概論」『古事記』における古記録 「序文」	35	授業まとめ／振り返り				
	18	「国文学概論」『古事記』大和朝廷における政治的支配および時代的背景	36	授業まとめ／振り返り				
成績割合	テスト	40%	学習FB方法	前期・後期 答案返却				
	学習態度・出席率	30%						
	レポート	30%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点、A80～89点、B70～79点、C60～69点、D59点以下は不合格				
	合計	100%						
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>30% R<実働実践型学習>30% A<主体的参加型学習>30% G<海外体感型学習>10%							
講師プロフィール	元昭和女子大学准教授(日本古典文学 和歌文学)							

シラバス

科目名	一般常識 I		担当者名	松木 芳文				
学 科			授業方法	講義				
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	選択	授業時間数	36時間			
授業目的	社会で必須となる一般常識を、数学・国語・社会の面からスキルアップする。							
授業目標 (ラーニングアウトカムズ)	数学 高校数学までの単元の中で、社会人として生活するに当たり必要と思われる知識と論理的思考能力を養う。 国語 コミュニケーションに欠かせない国語の基本的な知識や教養を習得する。 社会 社会生活に必要な地盤公民の基本的な知識や教養を習得する。							
授業概要	数学 必要不可欠な知識を盛り込んだオリジナルテキストを使用し、数学の苦手意識を解消していく。 国語 漢字の読み書きを基本として、慣用句、ことわざや歌謡の習得と世界文学や日本文学常識を身に着ける。 社会 日本地理・世界地理、日本史・世界史、思想・文化など広い範囲の知識・教養を幅広く身に着ける。							
授業計画表		授業内容		授業内容				
	1 数学1 「一般常識 数学」オリエンテーション	19	国語・社会1 「一般常識 国語・社会」オリエンテーション					
	2 数学2 数の計算	20	国語・社会2 漢字一字の読み					
	3 数学3 式の計算	21	国語・社会3 二字熟語の読み					
	4 数学4 因数分解	22	国語・社会4 慣用語の読み					
	5 数学5 平方根	23	国語・社会5 常用漢字外の読み					
	6 数学6 1次方程式	24	国語・社会6 漢字一字の書き取り					
	7 数学7 連立方程式	25	国語・社会7 二字熟語の書き取り					
	8 数学8 2次方程式	26	国語・社会8 同訓異字の書き取り					
	9 数学9 不等式	27	国語・社会9 同音異義語の書き取り					
	10 数学10 前期成績判定テスト1	28	国語・社会10 対義語・類義語の書き取り					
	11 数と量の文章問題1	29	国語・社会11 世界史					
	12 数と量の文章問題2	30	国語・社会12 日本史					
	13 数学13 割合の文章問題1	31	国語・社会13 思想・社会・文化					
	14 数学14 割合の文章問題2	32	国語・社会14 成績判定テスト					
	15 数学15 速さの文章問題	33	総復習①					
	16 数学16 前期成績判定テスト	34	総復習②					
	17 数学17 規則性などの文章問題	35	総復習③					
	18 数学18 まとめ	36	まとめ					
成績割合	テスト	80%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付				
	学習態度・出席率	20%						
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89点 B70~79点 C60~69点				
	合計	100%						
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>100% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>100% G<<海外体験型学習>>30%							
講師プロフィール	慶應義塾大学経済学部。大手金融機関で金融全般のアドバイザリー業務の傍ら、海外での銀行設立業務にも参画する。他、数学、英語、国語、社会の講師を勤める。							

シラバス

科目名	キャリア開発Ⅱ		担当者名	葛原 加奈子、宮鍋 潤、沼田 かな子、山本 友梨香、野上 伴睦、井上 一輝				
学科			授業方法	講義				
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	選択	授業時間数	36時間			
授業目的	卒後VISIONに磨きをかけ解像度を上げる。							
授業目標 (ラーニングアウトカムズ)	授業開始時の卒後VISIONの評価と授業終了時の卒後VISIONの評価を比較し、評価がランクアップをしていること。							
授業概要	学修&就活成果を最大化。卒後visionに基づく学修&就活PDCAを実践学習。							
授業計画表		授業内容		授業内容				
	1	オリエンテーション	19	オリエンテーション				
	2	自分らしさの軸を確認	20	改善計画の立案				
	3	業界・仕事の変化を探究	21	課題の体系化・仮説と検証				
	4	卒後VISIONを描き直す	22	学修機会の活用(テクノス祭)				
	5	社会人基礎力特別講座	23	(テクノス祭)				
	6	PDCAサイクルとは	24	計画の実行度を評価				
	7	学修目標と就活目標の設定	25	目標に対する改善計画				
	8	目標に対する計画立案	26	課題の体系化・仮説と検証				
	9	学修機会の活用(IW)	27	就活(インターンシップ)				
	10	計画の実行度を評価	28	就活(インターンシップ)				
	11	目標に対する改善計画	29	12月キャリア支援プログラム				
	12	就活(インターンシップ)	30	12月キャリア支援プログラム				
	13	社会人基礎力特別講座	31	最終報告				
	14	7月キャリア支援プログラム	32	最終報告				
	15	前期の学修と就活の振り返り	33	最終報告				
	16	中間報告会	34	卒後VISION提出				
	17	中間報告会	35	2月キャリア支援プログラム				
	18	中間報告会	36	2月キャリア支援プログラム				
成績割合	テスト	0%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付 提出された卒後VISIONと各課題への評価。就活状況モニタリング。				
	学習態度・出席率	30%(課題の提出と就活モニタリング)						
	レポート	70%(卒後VISIONの提出)	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89点 B70~79点 C60~69点				
	合計	100%						
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>40% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>10%							
講師プロフィール	キャリアセンタースタッフが授業をコーディネートし、授業内容に合わせた外部講師を招聘する。							

シラバス

科目名	一般常識Ⅱ		担当者名	松木 芳文				
学 科			授業方法	講義				
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	選択	授業時間数	36時間			
授業目的	社会で必須となる一般常識を、数学・国語・社会の面からスキルアップする。							
授業目標 (ラーニングアウトカムズ)	数学 高校数学までの単元の中で、社会人として生活するに当たり必要と思われる知識と論理的思考能力を養う。 国語 コミュニケーションに欠かせない国語の基本的な知識や教養を習得する。 社会 社会生活に必要な地盤公民の基本的な知識や教養を習得する。							
授業概要	数学 必要不可欠な知識を盛り込んだオリジナルテキストを使用し、数学の苦手意識を解消していく。 国語 漢字の読み書きを基本として、慣用句、ことわざや歌謡の習得と世界文学や日本文学常識を身に着ける。 社会 日本地理・世界地理、日本史・世界史、思想・文化など広い範囲の知識・教養を幅広く身に着ける。							
授業計画表		授業内容		授業内容				
	1	数学1 「一般常識 数学」オリエンテーション	19	国語・社会1 「一般常識 国語・社会」オリエンテーション				
	2	数学2 数の計算	20	国語・社会2 漢字一字の読み				
	3	数学3 式の計算	21	国語・社会3 二字熟語の読み				
	4	数学4 因数分解	22	国語・社会4 慣用語の読み				
	5	数学5 平方根	23	国語・社会5 常用漢字外の読み				
	6	数学6 1次方程式	24	国語・社会6 漢字一字の書き取り				
	7	数学7 連立方程式	25	国語・社会7 二字熟語の書き取り				
	8	数学8 2次方程式	26	国語・社会8 同訓異字の書き取り				
	9	数学9 不等式	27	国語・社会9 同音異義語の書き取り				
	10	数学10 前期成績判定テスト1	28	国語・社会10 対義語・類義語の書き取り				
	11	数学11 数と量の文章問題1	29	国語・社会11 世界史				
	12	数学12 数と量の文章問題2	30	国語・社会12 日本史				
	13	数学13 割合の文章問題1	31	国語・社会13 思想・社会・文化				
	14	数学14 割合の文章問題2	32	国語・社会14 成績判定テスト				
	15	数学15 速さの文章問題1	33	総復習				
	16	数学16 前期成績判定テスト	34	まとめ				
	17	数学17 規則性などの文章問題	35	まとめ				
	18	数学18 まとめ	36	まとめ				
成績割合	テスト	数学 80%国語・社会 80%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付				
	学習態度・出席率	数学 20%(確認テストと出席) 国語・社会 20%(確認テストと出席)						
	レポート	なし	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89点 B70~79点 C60~69点				
	合計	100%						
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>100% R<実働実践型学習>20% A<主体的参加型学習>100% G<海外体験型学習>30%							
講師プロフィール	慶應義塾大学経済学部。大手金融機関で金融全般のアドバイザリー業務の傍ら、海外での銀行設立業務にも参画する。他、数学、英語、国語、社会の講師を勤める。							

シラバス

科目名	大学支援 総合Ⅱ		担当者名	若林 芳勝				
学 科			授業方法	講義				
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開講期 必・選	選択	授業時間数	72時間			
授業目的	産業能率大学通信教育課程の基礎・専門科目(全8科目)の単位修得に必要な学習支援を行う。その際、経営的視点を養い、主に経営・マネジメントに関する基礎的な部分を理解することを重視する。							
授業目標 (ラーニングアウトカムズ)	産能大のリポート・科目修得試験への取り組み方の基本を学び、経営・マネジメントの基礎・専門科目を総合的に学びながら単位修得を目指す。							
授業概要	大学所定教材テキストの要点を解説し、リポート課題の作成指導を行った上、大学科目修得試験合格に必要な受験対策を実施する。 前期・後期の単位修得科目は、主に以下を予定しています。 〔前期〕4科目:「企業家に学ぶ経営」「ストリートファッショニ論」「地域コミュニティ活動と社会貢献」「スポーツに学ぶチームマネジメント」 〔後期〕4科目:「ビジネス倫理」「人間関係の心理学」「チームマネジメント論」「リーダーシップ論」							
授業計画表	授業内容			授業内容				
	1	オリエンテーション	19	講義				
	2	オリエンテーション	20	講義				
	3	講義	21	講義				
	4	講義	22	講義				
	5	講義	23	講義				
	6	講義	24	講義				
	7	講義	25	講義				
	8	講義	26	講義				
	9	講義	27	講義				
	10	講義	28	講義				
	11	講義	29	講義				
	12	講義	30	講義				
	13	講義	31	講義				
	14	講義	32	講義				
	15	講義	33	講義				
	16	講義	34	講義				
	17	定期試験に向けて総まとめ	35	定期試験に向けて総まとめ				
	18	定期試験に向けて総まとめ	36	定期試験に向けて総まとめ				
成績割合	テスト 60%		学習FB方法	授業中に随時フィードバックを行います。				
	学習態度・出席率 40%							
	レポート		成績評価	定期試験(小テスト・レポートを含む)、学習態度、出席率を勘案し、総合評価にて決定します。				
	合計 100%							
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>> R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>> G<<海外体感型学習>>							
講師プロフィール	経営・マネジメントの知識は社会に出てから必ず必要になります。一緒に学習しましょう。							

シラバス

科目名	大学支援 総合Ⅱ		担当者名	宮坂 友造				
学科			授業方法	講義				
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開講期 必・選	選択	授業時間数	72時間			
授業目的	この講義は中央大学通信教育部の単位取得を目指し学習する授業となります。対象科目は、民法1(総則)、民法2(物権)、民法5(親族・相続)、刑法各論となります。これらの科目についての基礎知識、また単位取得のために必要なレポート作成の仕方を習得することを目的とします。							
授業目標 (ラーニングアウトカムズ)	第一の目標は中央大学の単位取得となります。また、その過程で法的知識の習得、法の解釈の仕方、事例問題の解決力等を身につけることも目標とします。							
授業概要	民法1、民法2、民法5、刑法各論のレポート課題につき、論点の正確な把握、論文の構成の仕方、また関連する判例の読み方を学んでいきます。							
授業計画表		授業内容		授業内容				
	1	オリエンテーション①	19	刑法各論第2課題の解説②				
	2	オリエンテーション②	20	民法1第3課題の解説①				
	3	オリエンテーション③	21	民法1第3課題の解説②				
	4	民法2第1課題の解説	22	民法1第1課題の解説①				
	5	民法2第2課題の解説	23	民法1第1課題の解説②				
	6	民法1第2課題の解説①	24	民法2第3課題の解説①				
	7	民法1第2課題の解説②	25	民法2第3課題の解説②				
	8	民法1第4課題の解説①	26	民法2第4課題の解説①				
	9	民法1第4課題の解説②	27	民法2第4課題の解説②				
	10	民法2第2課題の解説①	28	民法5第3課題の解説①				
	11	民法2第2課題の解説②	29	民法5第3課題の解説②				
	12	民法5第1課題の解説①	30	民法5第4課題の解説				
	13	民法5第1課題の解説②	31	刑法各論第3課題の解説①				
	14	民法5第2課題の解説①	32	刑法各論第3課題の解説②				
	15	民法5第2課題の解説②	33	刑法各論第4課題の解説				
	16	刑法各論第1課題の解説①	34	まとめ①				
	17	刑法各論第1課題の解説②	35	まとめ②				
	18	刑法各論第2課題の解説①	36	まとめ③				
成績割合	テスト	0%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付				
	学習態度・出席率	30%						
	レポート	70%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89点 B70~79点 C60~69点				
	合計	100%						
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>100% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体験型学習>>5%							
講師プロフィール	中央大学通信教育部インストラクター 行政書士試験合格、専門学校・大学で15年以上の講師歴あり							

シラバス

科目名	大学支援 総合II		担当者名	月本直子				
学科			授業方法	講義				
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開講期 必・選	選択	授業時間数	72時間			
授業目的	「国文学史I」では日本文学史に特徴的な構造を理解し、歴史の流れの中における文学の位置づけを理解する。「国語学概論」では日本語学の多彩な研究領域及びその周辺領域に関する知識を身に付ける。「国文学史II」では日本の近現代文学史の流れについて学び、主たる作家の文学的意味付けを理解する。							
授業目標 (ラーニングアウトカムズ)	日本大学通信教育部における「国文学史I」「国語学概論」「国文学史II」の三科目に関するリポート課題の合格及び科目修得試験の合格を見込める力を付ける。							
授業概要	いざれの科目も講義形式を中心として行う。理解の助けとして教科書内容に即したプリントを適宜使用しつつ力を付けていく。また、科目ごとに約2000字のリポート二編が課題となっているので、それらを作成するため筋道を立てて文章をまとめる技術も習得する。							
授業計画表		授業内容		授業内容				
	1	講義概要説明	19	国語学概論「文章と文体」				
	2	国文学史I 「日記と隨筆」	20	国語学概論「敬語」				
	3	国文学史I リポート作成	21	国語学概論「日本語教育」				
	4	国文学史I 和歌	22	国語学概論「心理言語学」				
	5	国文学史I リポート作成	23	リポート作成				
	6	国文学史I 上代の文学概観	24	国文学史II 「文明開化と『文学』の変容」				
	7	国文学史I 「上代の文学 神話・伝説・説話」	25	国文学史II 「明治中期の小説」				
	8	国文学史I 中古の文学概観	26	国文学史II 「自然主義文学」				
	9	国文学史I 「中古の文学 物語の発生と展開」	27	国文学史II 「漱石と鷗外」				
	10	国文学史I 「中古の文学 説話集と歴史物語」	28	国文学史II 「耽美派」				
	11	国文学史I 中世の文学概観	29	国文学史II 「白樺派」				
	12	国文学史I 「中世の文学 和歌」	30	国文学史II 「『新思潮』と大正期教養主義」				
	13	国語学概論 概要説明	31	国文学史II 「プロレタリア文学」				
	14	国語学概論 「音声と音韻」	32	国文学史II 「新感覺派」				
	15	国語学概論 「音声と音韻」	33	国文学史II 「戦後文学」				
	16	リポート作成に向けて	34	まとめ				
	17	国語学概論 「意味」	35	まとめ				
	18	国語学概論 「意味」	36	まとめ				
成績割合	テスト	70%	学習FB方法	答案返却時に解説をする。				
	学習態度・出席率	30%						
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S 90~100 A 80~89 B 70~79 C 60~69 D 59点以下不合格				
	合計	100%						
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>70% R<<実働実践型学習>60% A<<主体的参加型学習>80% G<<海外体感型学習>20%							
講師プロフィール	都内の中高一貫女子校で専任教員及び講師として約40年間国語を担当した経験を持つ。							

シラバス

科目名	日本語演習Ⅱ(N1)		担当者名	楊陽、岡崎志織				
学科			授業方法	講義				
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開講期 必・選	選択	授業時間数	72時間			
授業目的	授業に必要とされる日本語の知識や理解力、会話力を深め、N1試験合格を目指す。							
授業目標 (ラーニングアウトカムズ)	12月に行われるJLPT N1の合格を目指す。							
授業概要	教科書に従って授業を展開し、文法、漢字、意味、慣用句、オノマトペ、読解、会話等、授業に必要とされる日本語の知識や理解力を深め、JLPT N1レベルの学習者としてふさわしい日本語力を身につける。							
授業計画表		授業内容		授業内容				
	1	プレースメントテスト	19	日本語の読解及び文法17				
	2	オリエンテーション 日本語の読解及び文法1	20	日本語の読解及び文法18				
	3	日本語の読解及び文法2	21	日本語の読解及び文法19				
	4	日本語の読解及び文法3	22	日本語の読解及び文法20				
	5	日本語の読解及び文法4	23	日本語の読解及び文法21				
	6	日本語の読解及び文法5	24	日本語の読解及び文法22				
	7	日本語の読解及び文法6	25	日本語の読解及び文法23				
	8	日本語の読解及び文法7	26	日本語の読解及び文法24				
	9	日本語の読解及び文法8	27	日本語の読解及び文法25				
	10	日本語の読解及び文法9	28	日本語の読解及び文法26				
	11	日本語の読解及び文法10	29	日本語の読解及び文法27				
	12	日本語の読解及び文法11	30	日本語の読解及び文法28				
	13	日本語の読解及び文法12	31	日本語の読解及び文法29				
	14	日本語の読解及び文法13	32	日本語の読解及び文法30				
	15	日本語の読解及び文法14	33	日本語の読解及び文法31				
	16	前期末試験	34	日本語の読解及び文法32				
	17	日本語の読解及び文法15	35	学年末試験				
	18	日本語の読解及び文法16	36	試験返却、解説、総復習				
成績割合	テスト	60%	学習FB方法	定期的にまとめテストにてフィードバック				
	学習態度・出席率	30%						
	レポート	10%	成績評価	出席率80%以上 S=100~90点、A=89~80点、B=79~70点、C=69~60点、D=59				
	合計	100%						
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>100% R<<実働実践型学習>0% A<<主体的参加型学習>0% G<<海外体感型学習>0%							
講師プロフィール	大学卒業後、日本航空 国際線に7年間勤務 在米6年 在独2年 日本語教師資格所有 米カリфорニア大学にて英語教員免許(TESL)取得 日米の教員免許を所有 長い海外経験から、外国人留学生の立場に立ったわかりやすい日本語の授業を心がけています。							

シラバス

科目名	日本語演習Ⅱ(N2)		担当者名	楊陽、岡崎志織				
学科			授業方法	講義				
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開講期 必・選	選択	授業時間数	72時間			
授業目的	授業に必要とされる日本語の知識や理解力、会話力を深め、N2試験合格を目指す。							
授業目標 (ラーニングアウトカムズ)	12月に行われるJLPT N2の合格を目指す。							
授業概要	教科書に従って授業を展開し、文法、漢字、意味、慣用句、オノマトペ、読解、会話等、授業に必要とされる日本語の知識や理解力を深め、JLPT N2レベルの学習者としてふさわしい日本語力を身につける。							
授業計画表	授業内容			授業内容				
	1	プレースメントテスト	19	日本語の読解及び文法 17				
	2	オリエンテーション 日本語の読解及び文法1	20	日本語の読解及び文法18				
	3	日本語の読解及び文法 2	21	日本語の読解及び文法19				
	4	日本語の読解及び文法 3	22	日本語の読解及び文法 20				
	5	日本語の読解及び文法 4	23	日本語の読解及び文法 21				
	6	日本語の読解及び文法 5	24	日本語の読解及び文法 22				
	7	日本語の読解及び文法 6	25	日本語の読解及び文法 23				
	8	日本語の読解及び文法 7	26	日本語の読解及び文法 24				
	9	日本語の読解及び文法 8	27	日本語の読解及び文法 25				
	10	日本語の読解及び文法 9	28	日本語の読解及び文法 26				
	11	日本語の読解及び文法 10	29	日本語の読解及び文法 27				
	12	日本語の読解及び文法 11	30	日本語の読解及び文法 28				
	13	日本語の読解及び文法 12	31	日本語の読解及び文法 29				
	14	日本語の読解及び文法 13	32	日本語の読解及び文法 30				
	15	日本語の読解及び文法 14	33	日本語の読解及び文法 31				
	16	前期末試験	34	日本語の読解及び文法 32				
	17	日本語の読解及び文法 15	35	学年末試験				
	18	日本語の読解及び文法 16	36	試験編kyky、解説、総復習				
成績割合	テスト 60%		学習FB方法	定期的にまとめテストにてフィードバック				
	学習態度・出席率 30%							
	レポート 10%		成績評価	出席率80%以上 S=100~90点、A=89~80点、B=79~70点、C=69~60点、D=59				
	合計 100%							
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>100% R<実働実践型学習>0% A<主体的参加型学習>0% G<海外体感型学習>0%							
講師プロフィール	大学卒業後、日本航空 国際線に7年間勤務 在米6年 在独2年 日本語教師資格所有 米カリフォルニア大学にて英語教員免許(TESL)取得 日米の教員免許を所有 長い海外経験から、外国人留学生の立場に立ったわかりやすい日本語の授業を心がけています。							